



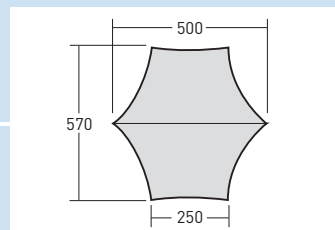
取扱説明書

保管用

Field Tarp Hexa DX

3333-80

フィールドタープヘキサ DX



◆ご使用前に、「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

MADE IN VIETNAM

安全上のご注意

キャンプにてかける前によく読み、必ず一度建ててみてください。
▲記号は警告・注意の内容であることを示します。



警告

誤った取扱いをした時に、死亡または重症を負う可能性がある内容を示しています。

使用前に必ず取扱説明書を読み、一度組み立ててください。

キャンプにてかける前に、取扱説明書通りにポール・幕・付属品がセットされているかを確認し、必ず一度組み立ててください。まれに縫製上の不備やセットミスなどにより、タープが建てられない場合があります。タープを収納する時は、ペグ、張り綱、ポールなどのパーツの数量を確認してください。

海外で使用される場合は、事前に弊社の「お客様相談室」までご相談ください。

本製品は、日本国内での使用を前提としております。海外で使用し、事故などによりケガや損害が生じた場合、十分な対応ができません。

「取扱説明書」をお読みにになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

ここには安全上に関する重大な注意事項を示しています。製品を安全に正しくご使用頂き、危害や損害を未然に防止するために、必ず守ってください。

キャンプ場やキャンプ許可地域以外では使用しないでください。

キャンプ場以外でのキャンプは、基本的に禁じられています。また、熟知していない土地では、どのような危険がひそんでいるか分かりません。特に河原でのキャンプは、雨やダム放水などにより、急に増水することがあり危険です。

タープの下やタープの近くで花火やたき火をしたり、ランタン・キャンドル等の火器や燃焼器具を使用しないでください。

- タープにほどこされている防水加工生地は、熱に弱く、燃えやすくなっています。
- 突風などによりポールが倒れ、タープが上からかぶり、引火する危険があります。
- 火器を使用した場合、タープが燃えたり、ヤケドなどの原因になったりします。
- タープ下で使用する照明はバッテリー式のランタンや懐中電灯を使用してください。



注意

誤った取扱いをした時に、人が傷害を負ったり物的損害の可能性のある内容を示しています。

ポールを扱う場合には、周囲に十分気を配りながら、事故やケガなどないように設置してください。

ポールは細く長いので、周囲にいる人(特に子供)の目に刺さったり、車などにキズつける可能性があります。

通行する人の妨げにならないようにタープを設置してください。

通行する人が、張り綱などを避けようと無理な通行をして、ケガの原因になることがあります。昼夜を問わず、通行する人が分かるような目印を張り綱に付けたり、タープのそばに通路を確保してください。

張り綱は指定された数を、きちんと張ってください。また、ペグはしっかり打ってください。

風でタープが飛ばされたり、水が溜まってタープがつぶれる危険があります。タープが吹き飛ばされた場合には、人や車、他のテントなどに当たって大きな損害になる可能性があります。また、ペグの頭が地面に触れるまで、しっかり打ち込んでください。ただし、設置する地面の状況や地質に応じてご使用ください。

就寝時や、強風時、雨天時にはタープを倒した状態にし、しっかり固定しておくか、畳んでください。

夜間、急に天候が変わることがあります。そのため、強風で外れたタープや倒れたポールなどでタープの下の道具が壊れたり、雨水が溜まってタープがつぶれる危険があります。

タープをペグ、張り綱で固定する前は、突風などでタープが飛ばされないように注意してください。

周囲で火気を使用している場合、飛ばされたタープに引火する危険があります。

付属のペグ、張り綱をすべて使用し、タープがたるまないように組み立ててください。

タープ生地がたるんでいる状態では、雨天時、天井などに溜まった雨水でタープがつぶれたり、風の力が余計にかかって飛ばされる原因になることがあります。ペグは根本まで地面に打ち込み、張り綱は強いテンション(張力)を保つようにしてください。

タープを無人の状態でも長時間、放置しないでください。

急な天候の変化等により、タープがつぶれたり、飛ばされる可能性があります。その場から長時間離れる場合はタープを倒して、飛ばされないよう重りを載せるなどしてください。

台風や落雷の時には、キャンプ場の管理担当者の指示に従い、安全な場所に避難してください。

悪天候が予想される状況下で、キャンプを強行する事は非常に危険です。また、悪天候の時には、タープの下は安全な場所ではありません。台風など強風が吹いている場合には、タープを設営しないでください。もし、設営している場合には、すぐに撤収してください。また雷雨時は、タープやポールに落雷する可能性もあり危険です。なお、キャンプ場内の避難場所は、必ず事前に確認しておいてください。

1. パーツを確認します

幕体と下記のパーツがセットされているか確認します。



ラチェットポール / 2本



ブラペグ(大) / 4本
ブラペグ(小) / 4本



ハンマー / 1本



張り綱(長) / 4本
張り綱(短) / 4本

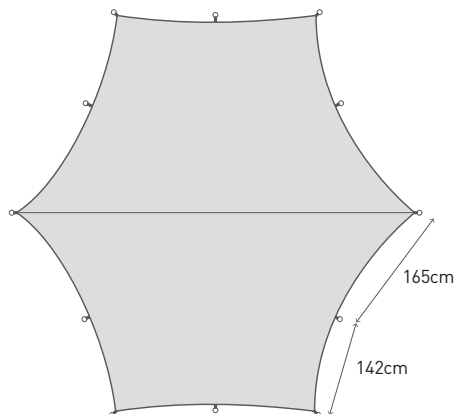
※張り綱は、長い4本が頂上用、短い4本が側面用です

△ 設営・撤収時のご注意

タープは完全に設営が完了した状態で強度設計されています。タープの破損は、設営時・撤収時に多く発生します。風が強く吹いている際は設営・撤収は見合わせ、風が収まってから作業を行ってください。

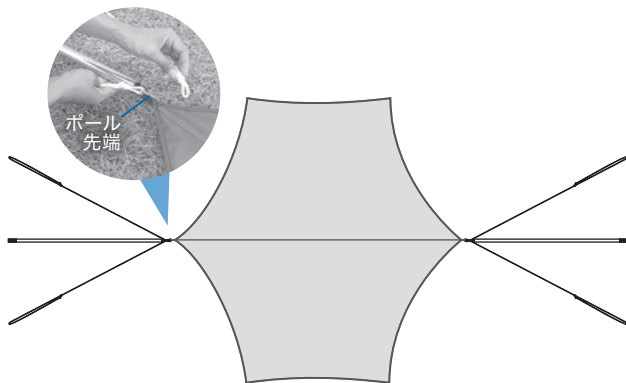
2. 幕体を広げます

幕体を地面に広げます。幕体を配置する際は、ペグを打ち込む場所を考えて、周囲に余裕をみて位置を決めます。



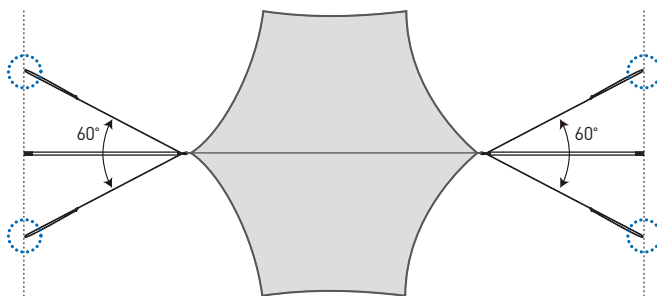
3. ポールを配置し、張り綱を取り付けます

幕体前後にポールを配置し、ループ状に結んだ張り綱をポール先端部に2本ずつ引っ掛けておきます。



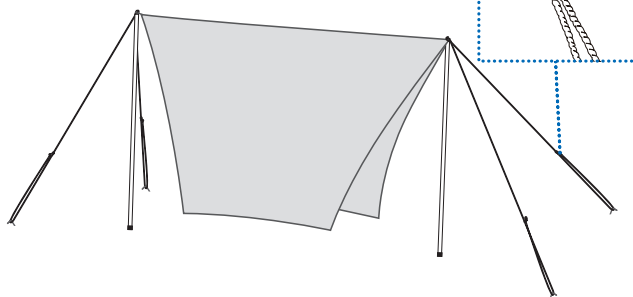
4. ペグを打ち込みます

ポール末端の延長線上に張り綱の長さを調節し、ポールを中心として60度の角度の場所(下記イラスト○部分)にペグを打ち込み、張り綱をかけます。この時、張り綱の自在は十分に緩めておきます。



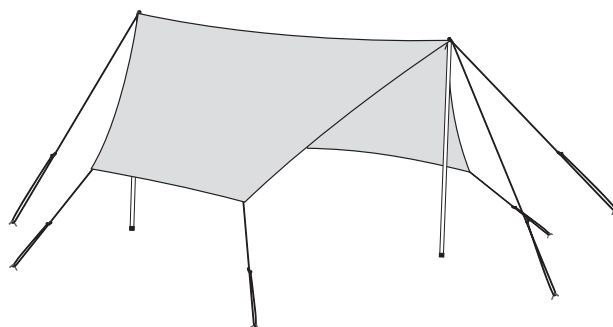
5. ポールを立ち上げます

ポールがまっすぐ立つように、片側ずつ張り綱の長さを調節しながら立ち上げていきます。逆側のポールも同じように立て、張り綱の長さを自在で調節しながら、幕体がピンと張るように調節します。



6. 張り綱を調整し完成です

側面の裾部4箇所張り綱(短)を結び付け、ペグで固定します。ペグはコーナーの対角線の延長線上で、幕体に一番シワがでない位置に打ち付けます。全て固定したら、ポールの位置や張り綱の長さを再度調整し完成です。



この説明書は水に強く破れにくい素材を使用しています。

